

1) システムの名称：

地域医療連携支援システム PrimeArch (プライムアーチ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

1 3. その他の診療施設業務系 (地域医療連携支援システム)

3) 特色：

PrimeArch は、多施設の標準化ストレージをインターネット回線で連携することにより包括型地域医療を実現する、地域医療連携支援システムです。

■SS-MIX 標準化ストレージ、拡張ストレージをベースにデータ連携します。

- ・標準化ストレージに格納された患者情報、処方、検体検査結果の参照
- ・レポート等の拡張ファイル形式 (JPEG、PDF、Excel、Word 等) の保存・参照が可能
- ・オフラインによるアップロード機能を実装

■診療情報提供書 (紹介状)、診療レポート等の作成を支援します。

- ・診療情報提供書のほか、各種レポートの作成に対応
- ・オフライン施設向けとした、HL7 CDA R2 に準拠した診療情報提供書 CD 出力に標準対応
- ・他施設からの CD 取り込みに対応 (一般的なファイルにも対応)
- ・将来の電子処方箋 (法令化は未定) にも対応予定

■多施設間のデータを収集し、対象患者の情報を表示します。

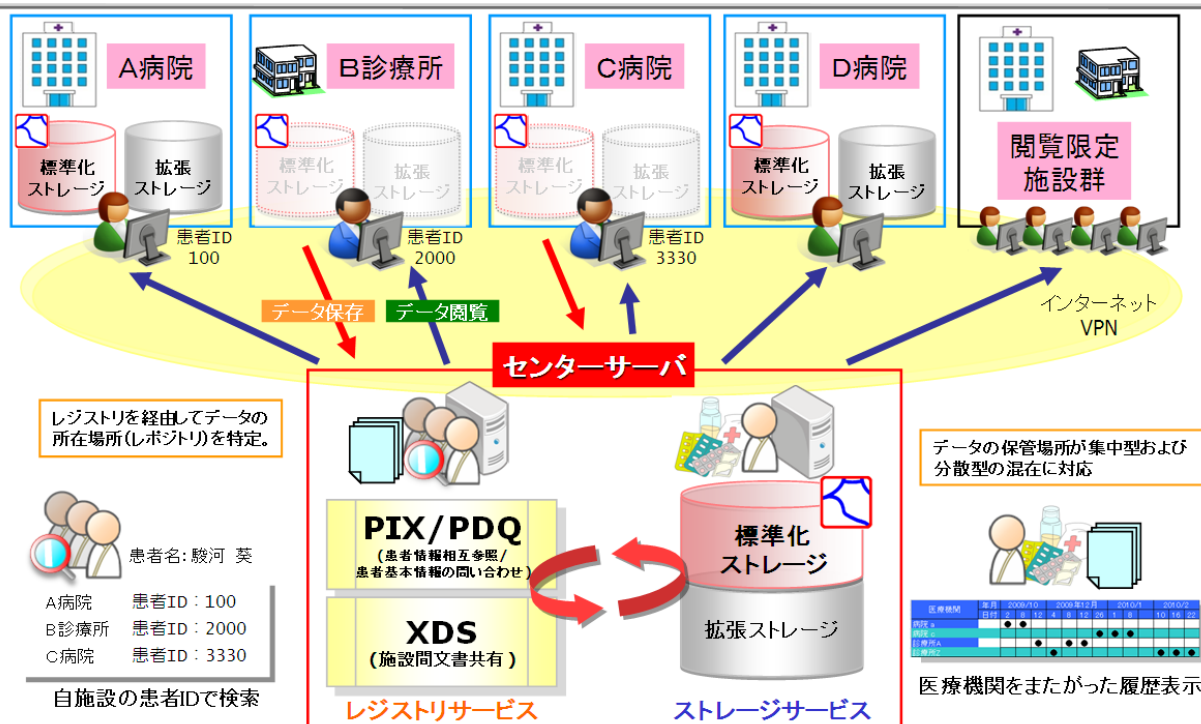
- ・データの保存場所は、「集中型」 & 「分散型」に対応、及びこれらの混在型にも対応
- ・各施設の検査画像 (DICOM) を参照
- ・時系列・登録データ種別マトリックスからワンクリック操作
- ・患者 ID の名寄せ検索 (PIX/PDQ)

■HPKI、患者認証用カードに対応することで、セキュリティ、プライバシーの保護を強化します。

■既設のインターネット回線も利用できることで、ネットワークコストを削減します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

## PrimeArch概要図



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

■データ交換規約：HL7(Ver2.5)／患者情報(ADT)、入退院情報(ADT)、処方・注射情報(OPM)、検査情報(OML)  
■HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報提供)準拠  
■HS008 診療情報提供書(電子紹介状)準拠  
■HS011 医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)  
■厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合済み

6) 動作環境(ソフトの場合)、ハードスペック(ハードの場合)：

【サーバ構成】  
オペレーティングシステム：Windows Server 2008(R)日本語版  
追加コンポーネント：.NET Framework2.0  
CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上(2 CPU を推奨)  
メインメモリ：4GB 以上  
【クライアント構成】  
オペレーティングシステム：Windows(R) XP SP2 日本語版以降  
Internet Explorer6 以上

7) 稼動までに必要な作業・期間：

既設 HIS における、標準化ストレージ・拡張ストレージ連携ご対応  
既設 PACS における、DICOM Q/R 連携お打合せ・ご対応  
インターネット回線開通、等  
稼動までに通常 3～6 ヶ月程度必要となります。

8) 価格(桁数(日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

7 桁(他システム連動・機器費は除く)、参加施設数により変動

9) 保守の内容と費用：

初期講習：オペレーション説明、マニュアル配布  
初期導入保守：運用開始時立会い  
利用保守料(回線使用料は別途)：病床 400 床未満の場合 月額 5 万円  
病床 400 床以上の場合 月額 6 万円

※遠隔保守(必須)

※別途ハード保守あり

(※税別)

10) 問い合わせ先(販売会社 担当者、URL、e-mail 等)および開発元(もし別途あれば)：

問合せ先：株式会社 SBS 情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 3-1-1

TEL：054-283-1450；FAX：054-284-9182

医療事業本部 営業担当

Mail：iryo@sbs-infosys.co.jp